

水辺のふるさと かつしか 秋号

2021.6-8

自然環境レポーター通信



写真のタイトル：アカボシゴマダラ

撮影場所：お花茶屋

写真提供：Ryuさん

目次

- 1 55種の動植物調査結果 P 2
- 2 自由レポート P 3 ~ 21
- 3 季節の写真集 P 22 ~ 27
- 4 魚からの便り P 28 ~ 31
- 5 環境課からのお知らせ P 32 ~ 33

編集担当のひとこと



令和9月4日に自然環境レポーター委嘱式及び事業説明会を開催しました。今年度は35名のレポーターの皆様と一緒に、葛飾区に生息する動植物等の調査をしていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

また7月10日には自然環境レポーター研修会を行ひ、都立水元公園で「夏に見られる昆虫」をテーマにして、講師に解説していただきなから自然観察会を行ひました。

夏の暑さも和らぎ、だんだんと秋らしい気候になってきたように思ひます。これから秋の自然も観察していきたくひです。

*** 佐藤 ***



55種の動植物 調査結果(6月~8月)

【調査区2】計14種

〈昆虫〉アキアカネ、オオカマキリ、カントン、
アブラゼミ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、
ナガサキアゲハ、クロアゲハ、ナミアゲハ
〈植物〉シロツメクサ、イモカタバミ、オオバコ、
ツユクサ、**ジュズダマ**

【調査区1】計7種

〈昆虫〉クマゼミ
アブラゼミ
ミンミンゼミ、
ナミアゲハ
〈植物〉アカメガシワ、
シロツメクサ、
オオキンケイギク

【調査区3】計21種

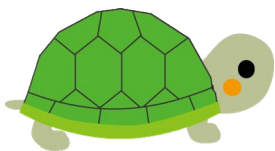
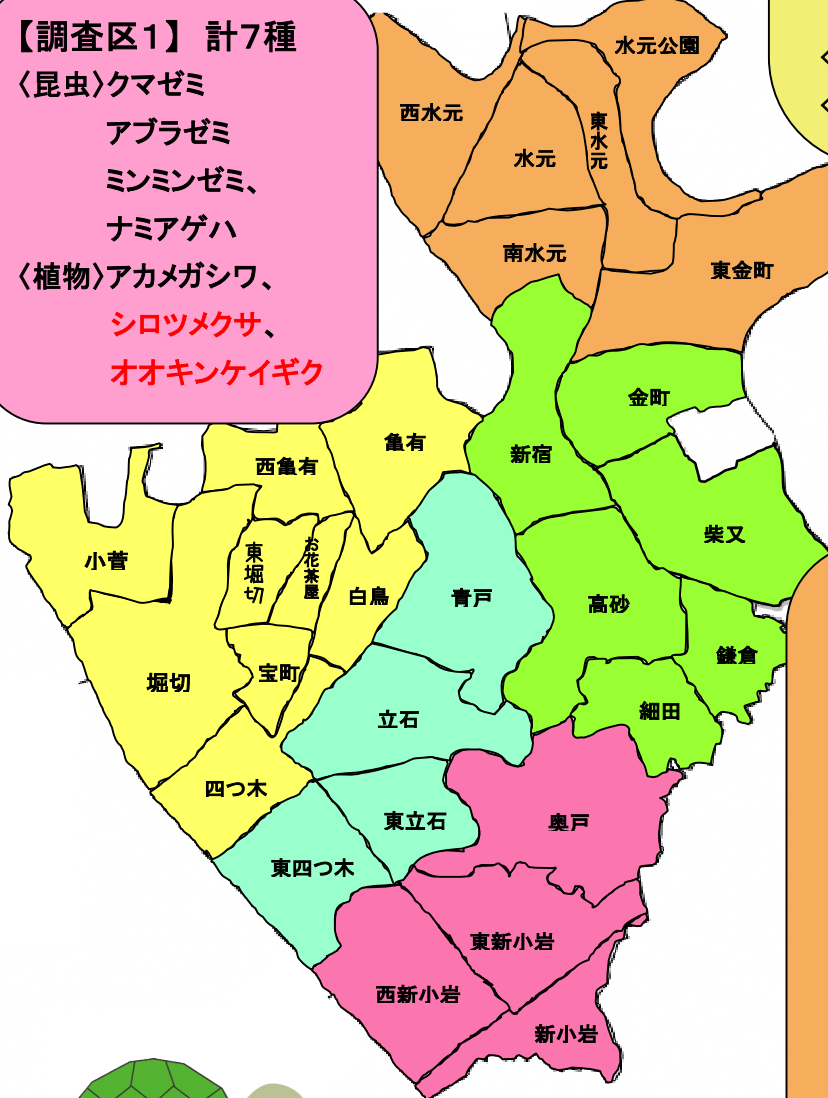
〈鳥類〉ツバメ、シジュウカラ、
〈昆虫〉エンマコオロギ、クマゼミ、アブラゼミ、
ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、
クロアゲハ、ナミアゲハ、
ツマグロヒョウモン、**アカボシゴマダラ**
〈植物〉アカメガシワ、スギナ、
シロツメクサ、イモカタバミ、
アレチウリ、オオバコ、
カントウヨメナ、ツユクサ
〈爬虫類〉**ミシシippアカミミガメ**
〈底生動物〉ベンケイガニ

【調査区4】計10種

〈鳥類〉ツバメ
〈昆虫〉カントン、クマゼミ、アブラゼミ、
ツクツクボウシ、ニイニイゼミ
ナミアゲハ、
〈植物〉**シロツメクサ、ツユクサ、ジュズダマ**

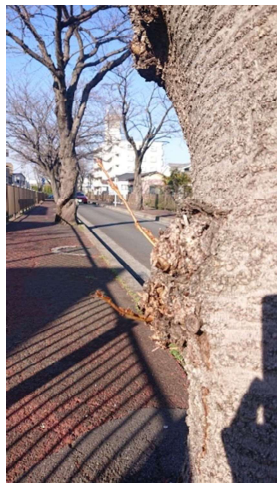
【調査区5】計28種

〈鳥類〉コアジサシ、ツバメ、オオヨシキリ、
コサギ、カワセミ、シジュウカラ
〈昆虫〉ギンヤンマ、オオカマキリ
エンマコオロギ、アブラゼミ
ツクツクボウシ、ミンミンゼミ
ニイニイゼミ、クロアゲハ
ナミアゲハ、**アカボシゴマダラ**
〈植物〉アカメガシワ、**ナガミヒナゲシ**
シロツメクサ、セリ、オオバコ
ツユクサ、**ジュズダマ、ススキ**
〈爬虫類〉**ミシシippアカミミガメ、ウシガエル**
ニホンカナヘビ、
〈クモ類〉コガネグモ



赤字は外来種だよ

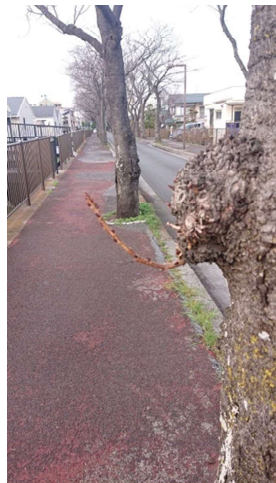
桜土手と水元公園の桜



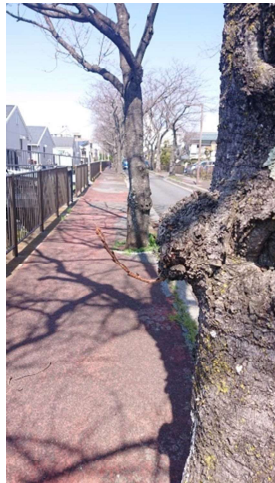
20210206



20210228



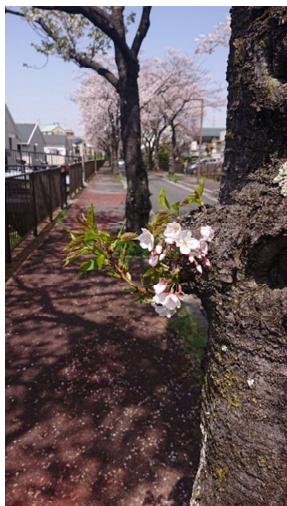
20210306



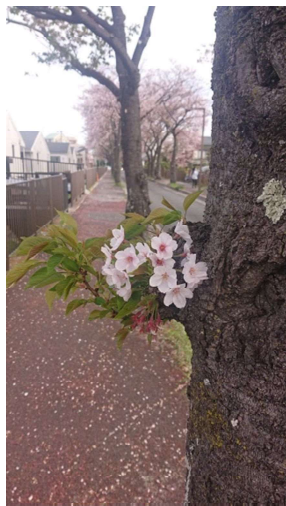
20210310



20210327



20210331



20210403



20210411



20210424



20210509



ここ1年数か月、水元公園に行く回数が増えています。水元公園の近くに住みながらも桜の咲く頃は、せいぜい2~3回見に行ければよかったです。今年はゆっくと楽しむことが出来ました。改めて水元公園の傍で暮らせる幸せを感じています。

東金町 K・T (2021.06)

今年の夏事情

弥生さくら草

昨年から引き続き年中行事などはコロナですっかり変わった。コロナは前代未聞の災難である。日本中が右往左往し決定的な解決策が無い状態である。もう家の中でじっと我慢しているのに耐えられない。オリンピックは開幕寸前でこれからどうなるのだろうか？期待と不安で穏やかではいられない。

今年は梅雨が長く続いた。各地に大きな被害をもたらすほど降り続いた。だから木々はたっぷり水を吸い葉の色を濃くしている。最近四季の訪れが例年通りにはいかないようなのは地球温暖化の影響だろうか。春の訪れも早く、桜が散ったと思う間もなく紫陽花が咲きそれから雨が降り続いた。

以前から育てている一年中咲き続けるという朝顔は一昨年二輪が咲いて感激したのだが、それっきりである。先日区役所の庁舎の壁面に這うように見事に咲き誇る群青色の朝顔群を観て感嘆。夏に限らず咲き続ける不思議な花に見惚れて帰宅した。だが家の朝顔はまだ置いておこう。いつかまた咲く日が来るかもしれないから。

秋の花の秋海棠も可愛い花をつけて可憐な姿である。おそらく以前は秋に咲いたのが命名の謂れであろうか。今年はお盆を待たずに

満開である。その花は半日陰を好みひっそりとしとしている。淡い紅色で、うつむいたような姿は見ていて涼感がある。茶花として好まれるのも解る気がするのだ。

数日前から百日紅が咲き始めた。百日間は咲き通すという艶やかで寿命が長いこの花が終わるころは秋になり涼風が吹いている筈だ

東京の夏は耐えがたいからこれらの花にも水分補給は不可欠である。

令和3年7月18日

氏名	散歩の花子	町名	西新小岩	調査区	1-4
----	-------	----	------	-----	-----



チョウセンアサガオ(朝鮮朝顔)／ナス科



中川土手の夜道、甘い香りに見回すと、
植えこみにポワッと白い花が浮かび上がっています。
毛(ケ)朝鮮朝顔かと思い、茎や葉をかるく触りましたが、毛はありませんでした。
チョウセンアサガオは、根や葉に有毒成分があり、
日本麻酔科学会のシンボルマークはこの花になっています。

8月下旬撮影



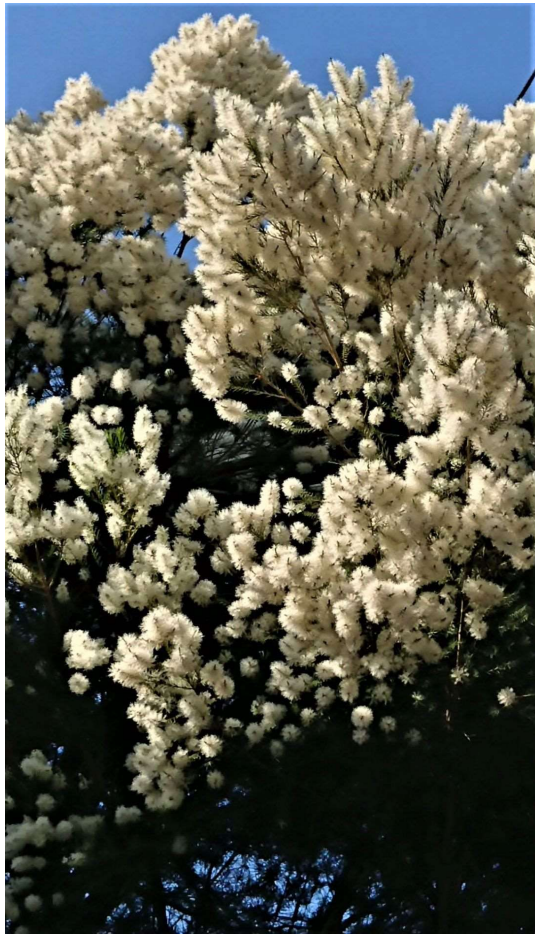
ネムノキ(合歓木)
マメ科



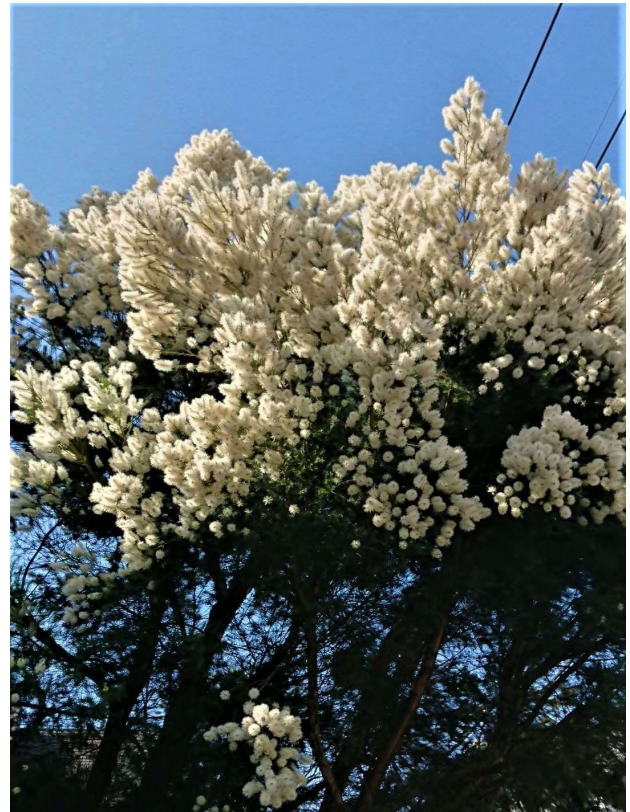
西新小岩 間栗公園の奥で、1本だけ、
にぎやかにピンクの扇が重なりあうように、
フサフサ咲いています。

6月中旬撮影

氏名	散歩の花子	町名	西新小岩	調査区	1-4
----	-------	----	------	-----	-----



メラレウカ(ティーツリー)
／フトモモ科



新小岩近隣で見つけた木です。
毎年5月下旬頃から白いモジャモジャした花がつきます。
やっと満開時にこの写真が撮れました。

6月上旬撮影

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年6月13日

ネジバナ



ネジバナ

区内北西部 令和3年6月5日

比較的よく見られる植物ですが、ランの仲間だそうです。

担当地域では造成された客土の場所1か所しか確認できていません。

名前の通りねじれた花でキレイなので、毎年咲くのを楽しみにしています。

私はネジバナと聞くと、小さい頃ティッシュをねじって鼻に突っ込み、鼻水を拭いていたことを思い出してしまいます。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年7月11日

アジサイと葛



アジサイの花と葛の葉

区内北西部 令和3年7月11日

アジサイは植栽で園芸品種のようです。伊豆の海岸の崖に生えていたのが今のよく見るアジサイの原種だそうです。

葛はもちろん葛飾区の「葛」です。

昔の葛飾は今の葛飾と指し示す地域が若干違うようで、現在の地域では、関心を持つまで花は見られません（気づきません）でした。

今の葛飾でも花の時期と、この葉の形を覚え、場所にあたりをつけておけば見ることができます。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年8月1日

雨水の流れ込む側溝に



「ツユクサ」

区内北西部 令和3年8月1日

雨水の流れ込むコンクリートで出来た側溝に咲いたツユクサです。

湿り気のある土地に生える少し珍しい植物が、低いほうに流れる雨水の側溝の中に種が流れ込み、少しの土でも、湿り気と影・栄養があるので元気に生えているのをたまに見かけます。

ここでは他にヘビイチゴやイヌタデなども咲き、一度アオダイショウを見かけたこともありました。

昔は田んぼの畔がその役割を果たしていたのではないかと思います。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

6月13日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は24度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメを見つけた。昆虫は、ヤマトシジミ(4)、ホタルガ(1)、モンシロチョウ(5)、ナミアゲハ(1)を見つけた。植物は、セイヨウタンポポ(4)、ドクダミ、ヘラオオバコ、ツユクサ、コヒルガオ、ヤブガラシ、スイバ、ヒメスイバ、ギシギシ、エノコログサ、ムラサキツメクサ、シロツメクサを見つけた。

6月26日(土)午前11時頃、天気は曇り(風あり)、気温は25度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ハクセキレイ(1)、スズメを見つけた。昆虫は、ヤマトシジミ(5)、モンシロチョウ(1)、キタキチョウ(2)を見つけた。植物は、ムラサキツメクサ、イヌムギ、カタバミ、ムラサキカタバミ、イモカタバミ、ヘクソカズラ、ドクダミ、ヤブガラシ、メヒシバ、オヒシバ、エノコログサ、ヘラオオバコ、ヨシ、スイバ、ヒメスイバ、ギシギシ、キカラスウリを見つけた。オシロイバナとアベリアの花が咲き始めた。

6月27日(日)午後3時頃、天気は曇り(風強し)、気温23度くらい。亀有5丁目20番。野鳥のワカケホンセイインコ(4)を見つけた。都立中川公園の方から飛んできて、電線に止まり、盛んに「キーッ、キーッ」と鳴いていた。

7月3日(土)午前10時頃、天気は曇り(風あり)、気温24度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、オナガ(3)を見つけた。昆虫は、ニイニイゼミ、ヤマトシジミ(3)、モンキチョウ(1)を見つけた。植物は、イモカタバミ、ヤブガラシ、エノコログサ、コヒルガオ、メヒシバを見つけた。ニイニイゼミの初鳴きが、例年に比べて1週間くらい早いように感じる。

7月11日(日)午前9時頃、天気は曇り(風少し有)、気温は26度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、シジュウカラ(1)、オオバン(1)を見つけた。昆虫は、キタキチョウ(3)、ヤマトシジミ(1)、ミンミンゼミを見つけた。植物は、メヒシバ、オヒシバ、シロツメクサ、ムラサキツメクサ、エノコログサ、ヤブガラシ、カタバミ、ツユクサ、ヒルガオ、ヨシ、ギシギシ、エゾノギシギシを見つけた。昨日は最高気温が33度で、ミンミンゼミの初鳴きがあった。

7月22日(木、祝)午前6時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は27度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、シジュウカラ(3)を見つけた。昆虫は、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ハサミムシ(1)、茶色と緑色のショウリョウバッタ(3)を見つけた。植物は、シロツメクサ、ムラサ

キツメクサ、ヨシ、コヒルガオ、ヘクソカズラ、エノコログサ、メヒシバ、オヒシバを見つけた。

7月31日(土)午後7時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は27度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。昆虫は、ニイニイゼミ、アブラゼミ、エンマコオロギ、ショウリョウバッタ(2)を見つけた。哺乳類のアブラコウモリ(1)を見つけた。暑い夕方だったが、秋の気配を少し感じることが出来た。

8月1日(日)午前6時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は27度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、キジバト(1)を見つけた。昆虫は、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、アブラゼミ、クマゼミ(1)ツツレサセコオロギ(2)、エンマコオロギ(1)、ショウリョウバッタ(3)を見つけた。植物は、ツユクサ、ヨシ、ムラサキツメクサ、エノコログサ、ヤブガラシ、オヒシバ、メヒシバを見つけた。

8月9日(月)午前6時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は29度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、シジュウカラ(3)を見つけた。昆虫は、ショウリョウバッタ(1)、アブラゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミ(3)、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギを見つけた。植物は、エノコログサ、メヒシバ、オヒシバを見つけた。サルスベリの桃色や白色の花が咲いていた。

8月22日(日)午後7時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は27度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。昆虫は、アオマツムシ、カネタタキ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ、ハラオカメコオロギを見つけた。爬虫類のニホンヤモリ(1)や哺乳類のアブラコウモリ(1)を見つけた。オシロイバナが咲いていた。

東京オリンピック2020大会前後から、新型コロナウイルス感染症が急拡大していった。8月22日付けの産経新聞では、21日に一日の新規感染者が、東京で5074人、全国で2万5492人が感染していると報じていた。10歳未満の感染も急増し、9月から新学期を迎える学校での感染拡大も懸念される。その中で、子どもたちの学びをどうしたらいいのかを考えるため、『教えから学びへ』(汐見稔幸、河出新書)を読んだ。汐見氏は、東京大学名誉教授(教育学・保育学)で、現場の教員や保育士から信頼されている教育学者である。著書の中で、「私はここ数年、SDGsを保育の現場に持ち込み、どのように取り組んでいくことができるかを保育士のみなさんと共に考えています。SDGsに私が惹かれた理由は、21世紀的な問題を解決するためにはマインドセットを変える必要がある、という要素が入っているからです」「『何を、何のために学ぶか』と考えるとき、自分が生きている社会や世界の課題について考え、そして希望を見出すために学ぶことが大事だと先に言いました。幼い頃から、保育や幼児教育、学校教育、家庭などで、(SDGsを通じて)マインドセットの

ベースを子どもたちと共につくることができる」と私は考えます。「地球環境をなんとか22世紀につなげたい。どんな地域の人も幸せに生きていける社会にしたい。ジェンダーギャップをできるだけ埋めたい。障害を持っていても生きていてうれしいと思える社会にしたい。そう思え、そうなるためには、自分が何をすればいいかを学ぶ。それが、学びの大きな目的の一つだと思います」と述べている。

SDGsの17ターゲットの一つ、4. a「子どもや障害のある人々、ジェンダーに配慮の行き届いた教育施設を建設・改良し、すべての人々にとって安全で、暴力がなく、だれもが利用できる、効果的な学習環境を提供する」がある。汐見氏は、前述の著書で、全国の小学校に「こども食堂」を設置し、地域の大人たちが運営する地域循環型経済方式を提案している。その「こども食堂」では、老若男女の異世代が交流し、自分の持ち味をいかして勉強を教えたり、遊びを提案したり、おしゃべりをする学びの場を考えていた。それに加えて、私は環境学習の場をセットすることを考えた。学校も一つの場であるが、お寺がその場にふさわしいのではないかと思う。お寺は、本来、社会活動をしていたという話がある。京都にある法然院も、その一つである。2012年1月にお寺へ伺い、話を聞いた。法話の中で、『自然と人との共生』ではなく、『人は自然の一部』という考えが大切」であり、「ご縁のあることをすべて受け入れること」という言葉に、環境学習にも大切なことだと理解した。そして、「お寺は、『共同体』として開放し、仏教の教えを知らせるために、環境学習を推進する」など、1時間ほど話を聞いた。法然院の活動は、『持続可能な福祉社会』（広井良典、ちくま新書）にも記載されている。広井氏は、京都大学こころの未来研究センター教授であり、社会保障や環境、医療、都市・地域に関する政策研究から死生観、ケア等をめぐる哲学的考察まで、幅広く研究・提言を行う方である。広井氏は、その著書の中で、日本の地域はコミュニティを失ったが、もう一度失った『つながり』を回復させる試みが各地でなされていることを取り上げている。その一つが京都・法然院の取り組みだ。「法然院は、『森の教室』や『共生き堂』といった場を通じ、地域に広く開かれた、コミュニティの拠点としてのお寺の役割を現代において再生する試みである」「（この試みは）福祉・医療、環境・自然、宗教・スピリチュアリティといった分野を新たにつないでいくものともいえる」また、「人々の関心の中心からはずれていたような空間や自然や社会資源が、ケアの営みを通じて再発見され」た。すなわち、「（法然院は）地域に開かれた、コミュニティの拠点」であり、『森の教室』や『共生き堂』での環境学習など」を通じて、「多くの世代が参加するコミュニティ再生へとつながりつつあるといえる」と、著者は評価している。これこそがSDGsの取り組みである。（8月22日）

葛飾区自然環境レポーター 自由レポート（2021年6月～2021年8月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：5 主に東金町、水元公園	町名：東金町
-----------	------------------	--------

6月6日（日） 水元公園



16時過ぎ、菖蒲田のハナショウブ（左）の様子を見に水元公園へ。比較的気温の高い日が続いたこともあってか、すでにハナショウブは見頃を迎えていた。さらに奥まで歩を進めヨシ原の一带に行くと、オオヨシキリが少なくとも3羽「ギョギョシ、ギョギョシ」と囀っていた。初夏を感じさせてくれる実に心地よい鳴き声だ。この日確認した野鳥は他にもいたが、ムクドリの大群の群れが目についた。

6月12日（土） 東金町6～8丁目江戸川堤、水元公園不動池

18時過ぎ江戸川堤に出て散策。ヒバリがあちらこちらで囀っていてとても賑やか。東金町8丁目地先の河川敷では、オオヨシキリとセッカの合唱が素晴らしい。この場所は以前にも取り上げたが、是非一度レポーターのみなさん・区民の皆さんにはお出掛け頂いて、夏鳥の囀りを堪能していただきたい。日没も遅くなるこの頃、18時半前後の時間帯にもかかわらずまだ明るく、河川敷での野鳥の囀りは何とも心地良いひとときだった。さらに歩を水元公園不動池へと足を延ばす。いつものようにカワセミが姿を見せてくれた。これまでの経験では、不動池でカワセミと出会える確率はかなり高い。自宅へと戻る途中の19時前、東金町7丁目付近の堤防上空でチョウゲンボウ（右）がホバリングしながら土手の斜面をじっと見ている様子に気付いた。獲物を探しているのかと思えば様子を見ると、一気に急降下し堤防斜面に着陸。5秒くらいして再び上空に飛び上がったが、足には何やら鳥のヒナかネズミのような小さな生き物を掴んでいる様子が見えたと、そのまま旧葛飾橋方面に飛び去って行った。チョウゲンボウは子育ての最中だろうか。堤防斜面の草が刈られてからまだ新たな草が伸びきっていないことで、獲物を見つけやすい条件だったのかもしれない。



8月3日（火） 東金町6丁目

夜帰宅時に、東金町6丁目江戸川堤防の草原よりエンマコオロギの「コロコロコロリー」との鳴き声が聞こえた（初認）。まだ暑いものの季節は確実に秋へと向かっていることを感じさせられた。

8月8日（日） 東金町6～7丁目江戸川堤

堤防上の草原の上をセッカが忙しく移動しながら「ヒッヒッヒッ」と囀りながら、少しずつ上昇していく姿を確認。ヒバリの囀りが聞けなくなってきたが、セッカが楽しませてくれる。

8月19日（木） 東金町6丁目、江戸川堤

日中葛西神社からツクツクボウシの鳴き声が聞こえた。いよいよ晩夏だ。江戸川堤に出ると、今日もセッカが元気に囀っている。

8月29日（日） 水元公園→東金町6～7丁目江戸川堤

水元公園小合溜の水面上にギンヤンマがスーッと飛んで行く姿を確認。江戸川堤防空空にて、セッカ（2）、ツバメ（3）を確認。

《追記》 東金町3丁目で確認した4つのツバメの巣のその後

前回 2021年3～5月のレポートで報告した東金町3丁目商店街の半径約100m内の4か所のツバメの巣のその後について、コンビニの軒先のツバメ以外は無事に巣立った様子。朝の出勤時に電線に親子と思われるツバメが留まっている様子が見られた。コンビニの軒先の巣は雨が当たりにくい場所にあったものの、数日にかけてかなり強い雨が続いた日があり、巣の一部が崩れかけていた。巣の中で何とか親子で雨をやり過ごしていたが、無事に巣立ってくれていれば良いが…。ツバメの親子の様子が見られなくなると何とも淋しいもの。また来年子育ての様子を観察できれば、ぜひ報告したいと思う。

6月19日(土) 東金町6丁目

午前9時頃自宅を出ようとしたところ、外壁にハグロトンボ(右)が留まっていた。毎年のように庭で見かけているが、やはり会えると何とも嬉しいもの。東京都区部では「絶滅危惧Ⅱ類」となっており、毎年見ることができるということは、貴重なことなのかもしれないと思い、感謝したい気持ちになった。



6月20日(日) 東金町6~8丁目江戸川堤、水元公園不動池



17時30分より、いつものように東金町6丁目から8丁目にかけて江戸川堤を散策。この日もヒバリが元気に囀り。計8羽の囀りを確認(左は手摺りに留まっていたヒバリ)。ツバメも8羽上空を泳ぐように飛翔。飛び姿を見ているこちら気持ちも良くなる。しばらくするとチョウゲンボウの姿も。今回は狩りの様子は見られず。東金町8丁目地先の河川敷では、まだオオヨシキリが3羽囀っていた。さらにキジも1羽「ケンケン！」と鳴いていた。いずれももうしばらくしたら鳴き声が聞こえなくなると思うと、何とも淋しい気がした。水元公園不動池ではカワセミには会えなかったものの、池の周りの樹々に多数のオナガが姿を見せてくれた。ウシガエルの太い鳴き声も聞こえる。

7月31日(土) 東金町6~7丁目江戸川堤

18時30分、江戸川堤を散策。この日は東風がやや強く涼しい風が心地よかった。上空にはツバメが元気に飛んでいた。また、アブラコウモリが風を避けるように、河川敷のオニグルミの樹々の風下を多数飛翔。

8月1日(日) 東金町6丁目、葛西神社

午前中、自宅付近を歩いていると、2018年のレポートで11月に新緑が出てきたことを取り上げた際と同じケヤキ(左)とムクロジ(右)に、真夏に再び新緑が出てきていることに気付いた。これは一体どういうことなのか?何が起きているのか??季節が少しばかり戻ったような感覚にとらわれた。



午後、葛西神社の北側の上空をチョウトンボがヒラリヒラリと舞っていた。チョウトンボは東京都区部では「準絶滅危惧」となっている。以前にも同じ様子を見かけたが、何とも言えないフワフワとして飛翔の様子にしばし見とれた。

緑のカーテンにチャレンジ

ゆきひめ

今年は、環境課環境計画係さんからゴーヤの「苗」と「種」をいただいたので、緑のカーテンにチャレンジしました。

6/1(火) 植え付け

右上の写真は 6/24(木)、半月ほどでぐんぐん伸びていくのがわかります。

7/21(水) 初めてゴーヤ狩りをしました。

右下の写真は 8/30(月)

ゴーヤが縦に伸びていった先には屋根のように網が張られており、ツルのおかげでカーテンだけでなく天井も日除けになっています。

ゴーヤは 1 回に 3~4 本ずつ、合計 4 回ほど収穫できました。

普段はアスファルト舗装の何も無い駐車場ですが、緑のカーテンのおかげで今年はたくさんの昆虫を見ることができました。

ベニシジミ

ヤマトシジミ

ツマグロヒョウモン

モンシロチョウ

ナミアゲハ

マメコガネ

シオカラトンボ

ナナホシテントウ

カメムシの仲間

自然観察レポート R3/6～8月

調査区 5

佐々木 定治

季節の移ろい鮮やかにこの夏



6月17日 ハンゲショウ 水元3丁目



6月28日 ノシメトンボ 水元2丁目



7月10日 ガマ 水元公園



アオサギ



オオミノガ



コガネグモ



カメムシ

2年目のコロナ禍の夏です。気候も不順で、災害も次ぎから次へと正に天変地異多発の今夏です。少し傷ついたようなハンゲショウを見つけました。また自宅の狭い庭で、父の残した釣り竿の先端にノシメトンボを見つけました。童謡歌詞にあるワンフリーズを思わせる情景でありました。7月10日は「自然環境レポーター研修会」として夏の自然観察会が開催されました。テーマは「夏に見られる昆虫」で講義は、水元公園水産試験場跡地：水辺のいきもの館で行われました。講師はNPO法人水元ネイチャープロジェクトの中島幸一先生で、暑い日の観察会でしたが懇切丁寧なる観察会で今後の、レポーター活動に活かせること満載の観察会になりました。

水元の自然大好き 3 丁目

8月4日の午前中に水元3丁目で、カマキリがセミを捕食している写真を撮影しました。普段に昆虫の撮影をする時は、なかなかシャッターチャンスが定まらないですが、この時は長時間に渡ってそのチャンスに恵まれました。昆虫の世界の「食べる食べられる:食う食われる」の関係が目前で観察できました。



8月4日 カマキリとアブラゼミ



8月24日 タマスダレ↑ ホオズキ→



ホトトギス



ススキ



ゲンノショウコ

立秋は8月7日ですから、8月24日の水元も夏から秋への趣きがで初めていました。タマスダレ・ホオズキ、そして何ととっても、ススキは秋を思わせる風情があります。今年は秋晴れの天気に出会えず、夏の終わりに梅雨時の体感をしている天候です。気候変動そのものが如実に現れているようです。自然環境レポーターとして研修を積み重ねつつ、地球環境に負荷をかけ過ぎない行動を続けていきたいと考えています。

氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫) 鳥類は大橋周囲～小合溜					
種類	植物・蝶々・野鳥 (令和三年)				

種類	6月	7月	8月	種類	6月	7月	8月
西洋タンポポ	2	12	2	シロツメ	0	多数	多数
つゆ草	0	13	多数	アゲハ蝶	2	2	2
シジミ蝶	0	5	5	モンシロ蝶	3	2	7
クロアゲハ蝶	0	2	0	アオサギ	1	1	1
				コサギ	1	0	0

野鳥情報 今年のつばめは巣立ちが早く5月から始まった。

A地点	雛6羽	5月下旬巣立つ	マンション	雛6羽	5月下旬巣立つ
駐車場	雛2羽	6月中旬	B地点	雛2羽	6月中旬

ひなの合計16羽、数年の観察で最高数となった。A地点では令和二年4羽をカラスが捕食。カラス被害が無かったのが良かった。

(先月号掲載の金町商店街の写真の場所は、ほぼこのひな誕生地で一致かと思えます)

つり情報

溜池で釣りをしていた人の「てながえび」を見せてもらった。お酒のおつまみになるらしい。

他の人には70cmの鯉も釣れると携帯の写真を見せてもらった。

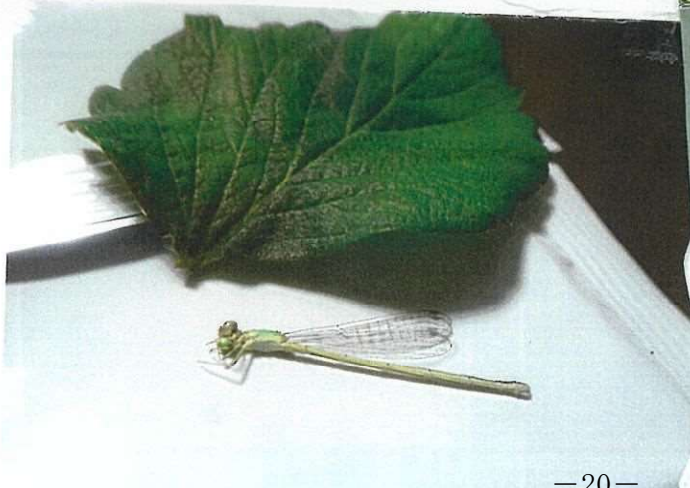
溜池の隅は汚水にみえるが魚は餌として食べるので大きな鯉が集まるといふ。

7月は雨、8月は高温だが釣り人は多い。

昆虫情報

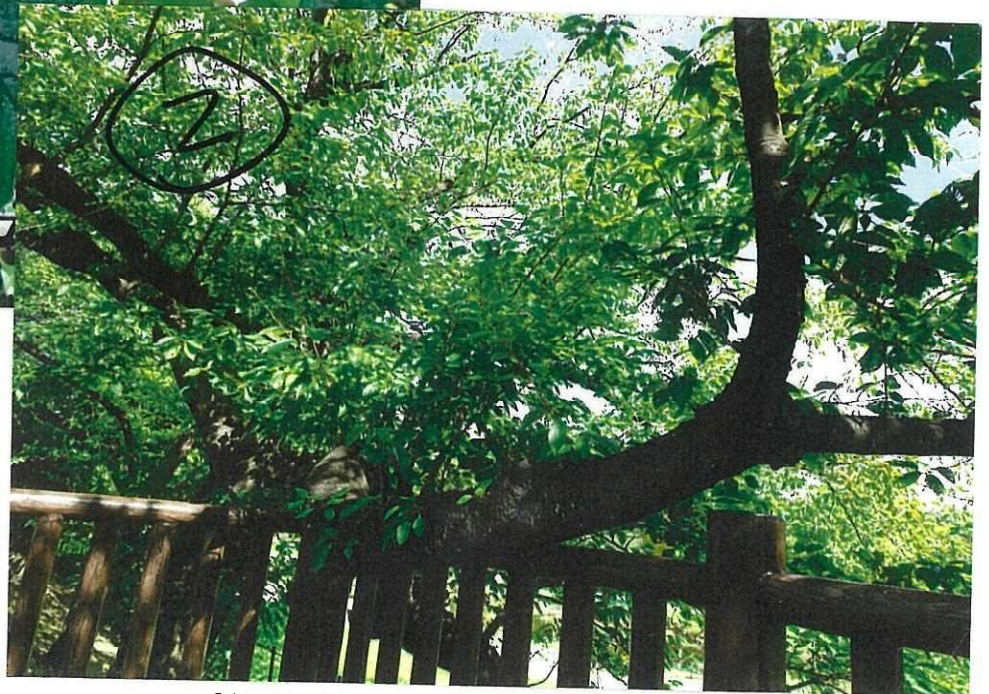
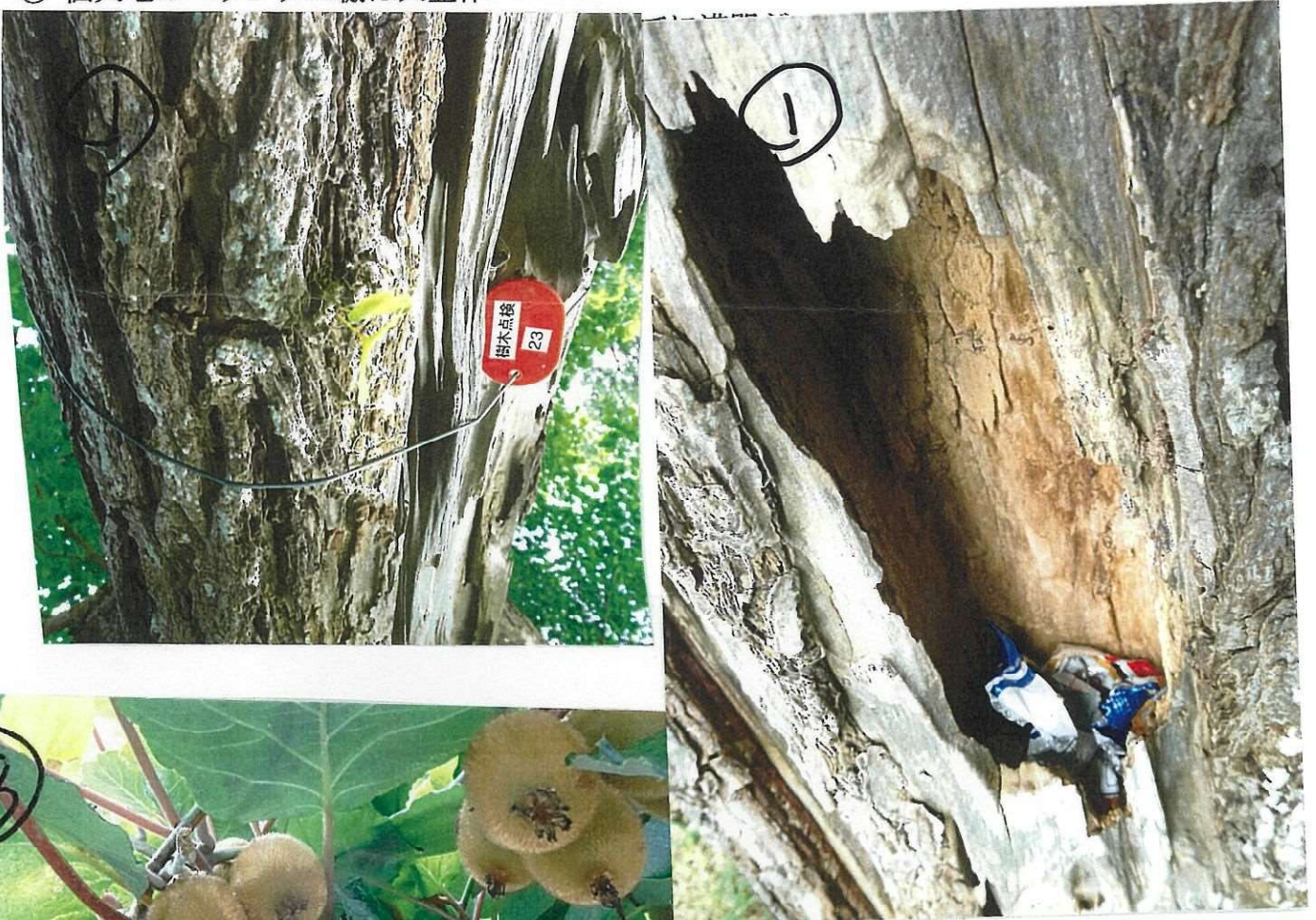
玄関の掃除中、蟻が1匹でヨロヨロしながら何かを運んでいた。拾い上げるとトンボの幼虫めずらしい発見だった。

幼虫がこの種類かどうかは不明だが、水元公園溜池の側で大人のトンボを撮影できた。



木と植物情報

- ① 公園入り口近くにイチョウの大木がある。幹の中間に小枝をみつけた。根元近くには空洞あり、そこをゴミ箱にした人がいた。
- ② 歩道脇のベンチの柵にさくらの木がみごとに腰掛けている。
- ③ 個人宅のベランダの棚は大豊作



季節の写真集 (6月～8月)



「珍色発見」
6/23 東堀切
名前：R



「野生のトウワタ」
6/5 東堀切
名前：R y u



「トゲトゲ」
ママコノシリヌグイ
6/13 区北西部
名前：石鍋 壽一

「なに、蛇がいるってえ！もう、青い
顔しちゃ、いらねえぜ！」

7/5 宝町
名前：慶蔵

「まだ、盆暮れにもならねえの
に、蛇が見込んだ雨蛙！」

ヒバカリ
6/16 宝町
名前：慶蔵



「ヒマワリ」
7/8 西亀有
名前：R

「キクラゲ」
7/7 お花茶屋
名前：R y u

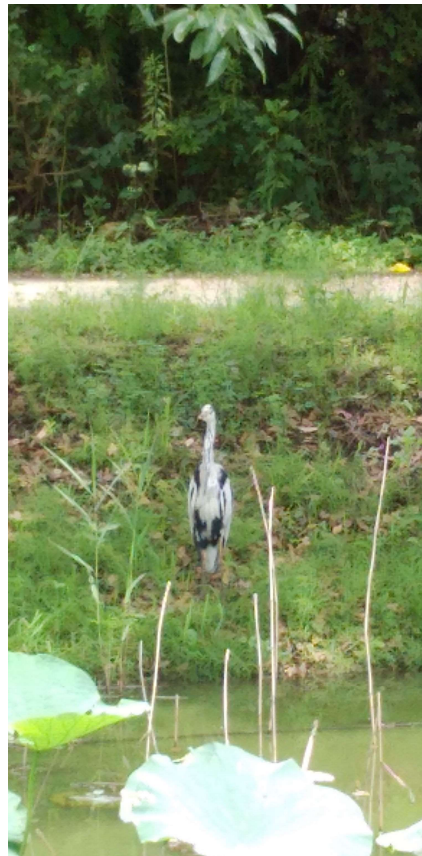




「あふれそうな小合溜」
7/3 水元公園
名前：ゆきひめ

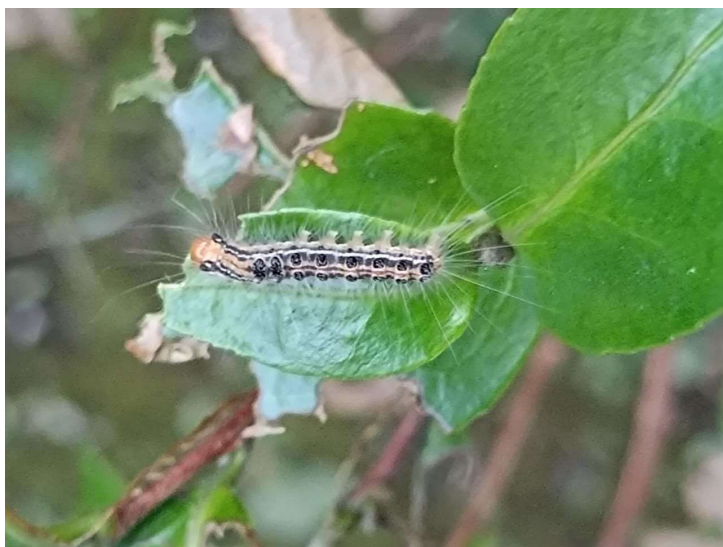
「レポーター研修」
7/10 水元公園
名前：ゆきひめ

「オニユリ（むかご有り）」
7/17 区北西部
名前：石鍋壽一





「ヤブラン」
8/1 区北西部
名前：石鍋壽一



「チャドクガです！僕の毛に触ると、
ひじょうに痒いよお！」
8/19 宝町
名前：慶蔵

「マンションに遊びに来たよ」
シロテンハナムグリ
8/5
名前：瑛ちゃん

「かっこいい」
シオヤアブ
7/21
名前：瑛ちゃん





「大豆開花」
8/11 お花茶屋
名前：R



「アカボシゴマダラ」
8/16 お花茶屋
名前：R y u



「カマキリとアブラゼミ（捕食）」
8/4 水元3丁目
名前：佐々木定治

名前：高橋雅子

季節の写真集 夏 (中川左岸緑道公園付近)

☆雨上がりの虹 (真ん中の棒にユリカモメがよく止まる)



☆毎日あそびにくるオナガ



☆チャバネセセリ？



葛飾柴又新八水路 魚からの便り-287

調査回数	調査日	調査地点	289 2021/6/12			備 考
			本流	新八水路	新八ワンド	
1		ア シ シ ロ ハ ゼ	17 36-70			
2		ウ ナ ギ	1 152			
3		オ イ カ ワ	3 134-148			
4		カ ダ ヤ シ		1 35	2 30-42	特定外来生物
5		ギ ン ブ ナ	1 132		1 27	
6		ク ロ ダ ハ ゼ	1 22			
7		コ イ		2 18-20	2 26-26	
8		コ ク チ バ ス	2 201-212			特定外来生物
9		ゴ ク ラ ク ハ ゼ	1 78			
10		ス ゴ モ ロ コ	23 60-72			
11		ス ズ キ	1 100			
12		ス ミ ウ キ ゴ リ		7 30-45	2 36-37	
13		デ メ モ ロ コ	13 47-68			
14		ニ ゴ イ	13 28-178			
15		ヌ マ チ チ ブ	52 30-72			
16		ハ ス	2 75-77			
17		ヒ ガ イ	1 33			
18		ボ ラ	6 43-480			
19		マ ハ ゼ	27 37-73			
20		マ ル タ	16 21-150			
21		メ ダ カ			4 33-35	
22		モ ツ ゴ			1 37	
23		ワ タ カ	1 141			
計			18種類181個体	3種類10個体	6種類12個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて23種類203個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温28.5℃、水温 本流26.6℃、新八水路23.4℃、新八ワンド29.1℃（14:30頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.74m (12:00)1.57m (14:00)1.61m

【参加者コメント】

- ・ クルミの実が、もう、お団子位に育っていました。午後、いい木陰を落としてくれます。あまり水面に魚がない、川底でばかり採れるような日でした。暑いから？ (KI)
- ・ 午後は水位が高くなってきて、投網を投げにくい状態でしたが、気温も高くなってきてハゼやヌマチなど沢山の魚がいて嬉しかったです。先月と同じ岩場付近で、またコクチバスを捕まえました。駆除できてよかったです。(AN)
- ・ 昨年同様、新八水路で5・6月に限ってメダカが確認できないが、なぜだろう、ワンドでは採れるのに・・・タイリクバラタナゴが確認できないのも少し寂しい。(SI)

【今後の調査日】 7月10日（土） 8月10日（土） 9月5日（日）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-288

調査次数 調査日 地点	290			備 考
	2021/7/10			
	本流	新八水路	新八ワンド	
1 ア シ シ ロ ハ ゼ	1 55			
2 ウ キ ゴ リ		2 49-50		
3 オ イ カ ワ	12 72-113			
4 オ オ ク チ バ ス	8 40-250			特定外来生物
5 カ マ ツ カ	1 40			
6 ギ ン ブ ナ		11 20-35	4 40-75	
7 ゲ ン ゴ ロ ウ ブ ナ			1 45	
8 コ イ	2 43-53		1 50	
9 コ ク チ バ ス	6 50-260			特定外来生物
10 ゴ ク ラ ク ハ ゼ	3 56-70			
11 シ モ フ リ シ マ ハ ゼ			1 24	
12 ス ゴ モ ロ コ	2 67-67			
13 ス ミ ウ キ ゴ リ		12 27-50	2 40-45	
14 タ モ ロ コ	1 45			
15 ツ チ フ キ	8 52-68		1 57	
16 デ メ モ ロ コ	7 63-75			
17 ド ジ ヨ ウ		2 31-35		
18 ニ ゴ イ	38 40-180		1 57	
19 ヌ マ チ チ ブ	62 17-72	1 23	1 55	
20 ヒ ガ イ	2 54-55			
21 ブ ル ー ギ ル	1 163			特定外来生物
22 ボ ラ	89 48-270			
23 マ ハ ゼ	60 46-100			
24 マ ル タ	2 60-76			
25 メ ダ カ	1 32	3 11-20		
26 モ ツ ゴ	3 50-56		1 24	
計	20種類309個体	6種類31個体	9種類13個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて26種類353個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温33.0℃、水温 本流24.6℃、新八水路24.5℃、新八ワンド26.7℃(15:00頃測定)

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)0.89m (12:00)0.60m (14:00)0.50m

【参加者コメント】

- ・ 梅雨明けを思わせる青空、南の空の入道雲を見ながらの調査でした。ここ数年、コクチバスの方が多気がしていたのですが、今回はオオクチも複数採れました。減水で普段より深いところにいけた影響？ (KI)
- ・ とても暑い中での調査だった。水位が低かったので投網がとても投げやすく、沢山の魚が網に入った。一度に十数匹入ることも！黄色のヒレが綺麗なヒガイや、青色に光るゴクラクハゼに出会えたことがとても嬉しかった！ (AN)
- ・ 1日で26種類は覚える限りではタイ記録かな。ワンドから流れ出たのだろうが、メダカが本流で採取されたのは驚き。そんなワンドで9種類も採取できたのが嬉しい。(SI)

【今後の調査日】 8月7日（土） 9月5日（日）

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-289

調査回数 調査日 地点	291			備 考	
	2021/8/7				
	本流	新八水路	新八ワンド		
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	2 28-29			
2	オ イ カ ワ	12 70-103			
3	オ オ ク チ バ ス	2 130-145			特定外来生物
4	カ ダ ヤ シ		2 18-23	16 14-47	特定外来生物
5	カ マ ツ カ	1 72			
6	ギ ン ブ ナ			1 64	
7	コ	1 84			
8	コ ク チ バ ス	4 97-114			特定外来生物
9	ス ミ ウ キ ゴ リ		2 43-62		
10	ツ チ フ キ	2 58-68			
11	デ メ モ ロ コ	1 63			
12	ニ ゴ イ	16 58-89			
13	ヌ マ チ チ ブ	2 30-55			
14	ハ	1 153			
15	ボ	6 66-144			
16	マ ハ ゼ	8 58-100			
17	メ ダ カ				
18	ワ タ カ	1 214		6 22-35	
計		14種類59個体	2種類4個体	3種類23個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて18種類86個体の魚類が採集されました。
- ・ 雨のち曇り、気温29.8℃、水温 本流31.0℃、新八水路29.1℃、新八ワンド31.1℃(14:30頃測定)

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）
 (10:00)1.56m (12:00)1.63m (14:00)1.68m

【参加者コメント】

- ・ 水位が高く安定して動かず、水底には泥が堆積し、水もかなり濁っていた。堤防に達するような増水によるフラッシュアウトが望まれる。（YK）
- ・ T山さん、草刈りありがとうございます。
午前中、川にいたら、下流から雨が近づいてくるのが、川面が白い煙に覆われていくように見えました。（KI）
- ・ 魚が入ったビニール袋を川に落とし、唯一残っていたのが2匹の小さなアシシロハゼだったが、この辺りで繁殖しているのだろうか。（SI）

【今後の調査日】 9月18日(土) 10月9日(土) 11月6日(土) 12月4日(土)
 2022年 1月15日(土) 2月19日(土) 3月19日(土)

HP (<http://shigenori1.jimdo.com/>) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

夏の自然観察会を行いました♪

令和3年7月10日(土)に自然環境レポーターの研修会を行いました。研修会前半は、水元公園水辺の生きもの館の周辺で自然観察を行い、その後、生きもの館では、標本を見ながら夏に見られる昆虫について学びました。そして、レポーター通信が貴重な資料になっていることを改めて知りました。今後も研修会を開催していく予定です。レポーター同士の交流やレベルアップのためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。

★新ハ水路で魚類調査を行います★

日時 10月9日(土) 11月6日(土) 12月4日(土)
午前10時～午後4時ごろ
場所 江戸川河川敷 ※事前にご連絡をお願いします。
持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス
詳しくは、HP (<http://shigenoril.jimdo.com/>)

★綾瀬川や曳舟川親水公園等で行う魚類などの調査を見学しませんか★

採取した生物を展示して、調査結果の概要を説明します。直接会場へお越しください。

日時 10月6日(水) 9時00分～ ※雨天時は10月7日(木)
調査結果の説明 11時30分～(30分程度)
場所 綾瀬川(東四つ木避難橋付近)

日時 11月5日(金) 13時30分～ ※雨天時は11月18日(木)
調査結果の説明 15時30分～(30分程度)
場所 江戸川・新ハ水路(柴又6丁目22番先)



グッドかわせみ賞受賞者 18名をご紹介します!

グッドかわせみ賞は、年に7回以上レポーター活動に励んだ方に授与されます。
受賞された皆さんには、賞状と記念品を委嘱式時にお渡しました。委嘱式を欠席された方には郵送しております。

石鍋壽一さん、瑛ちゃんさん、江戸川の小鮒さん、M・Tさん、江良ヒデ子さん、
T. Kさん、慶蔵さん、K. Nさん、佐々木定治さん、散歩の花子さん、
高橋雅子さん、田村ひろ子さん、Ryuさん、Rさん、ゆきひめさん、
藤並剛さん、森本龍司さん、弥生さくら草さん

今年度もグッドかわせみ賞を目指しましょう♪



～秋号でご協力いただいたみなさま～

Rさん、石鍋壽一さん、瑛ちゃん、江戸川の小鮒さん、
K. Nさん、慶蔵さん、K. Tさん、佐々木定治さん、
散歩の花子さん、高橋雅子さん、田村ひろ子さん、
藤並剛さん、森本龍司さん、弥生さくら草さん、ゆきひめさん、
Ryuさん、自主生物調査団(編集:一澤成典さん)

ご協力ありがとうございました☆彡

「水辺のふるさとかつしか」第318号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第270号)
令和3年9月30日 発行
葛飾区環境部環境課自然環境係
〒124-8555 葛飾区立石5-13-1
TEL(3695)1111 内線3522~3
直通電話 (5654)8237
fax (5698)1538



◆「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。